



伊豆市立中伊豆中学校 学校便り

中 中 通 信

校訓 努力は必ず報われる

7 月号

文責 樋口正則

学校のサポーター

校長 高橋 直樹

臨時休業中の先生方は、お互いに模擬授業を行ったり、授業の進度計画を立て直したりして、学校の再開に備えていました。しかし、いざ学校が始まると、朝の生徒の登校時間前から1日の準備を進め、授業、給食指導、清掃指導に加えて部活動が終わるまで業務に取り組んでいます。そのような状況の中で、コロナ感染対策に則った新しい生活様式に基づいた対応により、これまでとは違った対応や指導が求められることもあります。職員の中には、職員室にもなかなか戻って来られない先生もいます。

このような多忙な先生方のサポートをしていただき、子どもたちに潤いのある生活を届けていただいているのが、保護者の皆様を始め、地域の皆さんによるボランティアの方々です。それでは、どのような活動がされているのか紹介いたします。

PTAあいさつ運動

毎朝正門であいさつ運動を展開していますが、週に一度、木曜日の朝に限っては、保護者の皆さんの協力をいただいて実施しています。保護者の皆様からのあいさつに朝から“やる気”をいただいている子どもたち。生徒の素敵な笑顔を引き出せるのは、やはり友だちの保護者のあいさつですね。

図書ボランティア

毎週木曜日の午前中に、図書ボランティアさんが来校し、季節にあった掲示物を作成したり、図書館司書さんと本の手直しをしたりしています。7月には、七夕飾りを作成していただきました。



お花ボランティア

自宅の庭に咲いている花を、さりげなく子どもたちの視界に入るような昇降口の下駄箱の上などに飾っていただいています。それだけで、昇降口が整然となっていくから不思議です。



読花使(読み聞かせボランティア)

今年はコロナ禍により、未だ読み聞かせが行われていません。しかし、毎月1回、木曜日の朝活動で行われる読み聞かせを先生方も子ども共々楽しみにしています。初回が今から待ち遠しいです。

★★★ ボランティア募集中 ★★★

保護者、地域の皆様の中で、「一緒に活動してみたい」、「一度活動の様子を見てみたい」と思われた方は、お気軽に学校までお問い合わせください。

【TEL 83-0032・中伊豆中学校】

3年生の夢を応援しました

例年とはまったく異なる形で行われる中体連、3年生の悔しい思いと、フレンドリーマッチにかける思いを応援するために、3年生激励会を開きました。3蜜を回避するために、中止する学校が多い中。どうしたら激励会を行い3年生を応援することができるか。実行委員を中心に話し合い新しい形の激励会を作り上げました。応援団によるエール、1・2年生からの大きな手拍子。中伊豆中学校が一体となった時間となりました。3年生からは「どのような形であっても、一戦一戦大切に戦ってきます」など、力強い言葉が伝えられました。また、昨年まで行ってきたPTAによる激励会も形を変えて実施しました。保護者の方も応援に行くことができない大会に、3年生や1・2年生と同じように残念な気持ちでいると思います。PTAの代表の方よりその思いと激励の言葉と共に、全校生徒に1人1本ずつスポーツドリンクを贈っていただきました。ありがとうございました。7月23日から始まるフレンドリーマッチには全ての方の思いを胸に、3年生が最後の戦いに臨みます。



学校評議員会を開きました

より良い学校を創るために、外部の方の意見を伺い学校改革に役立てることを目的に「学校評議員会」が設けられています。本年度1回目の学校評議員会が行われました。その中で、子どもたちの様子から「中伊豆の良さをしっかりアピールすることができる。」「外で仕事をしていると子どもたちからあいさつをしてくれる。地域との近さを感じる。」等のご意見をいただきました。また、学校体制に関わる面では、「中体連や受験勉強などストレスをかかえながら生活をしているのではないか。」「コロナ下における中3の思いを、何か一つでも叶えてあげてほしい。中3が活躍することができるような事を考えてほしい。」「子どもたちの微妙な心境の変化を見逃さないようお願いしたい。」等のご意見をいただきました。これらのご意見を参考にしつつ、より良い学校を創り上げていきたいと思っております。

新しい生活習慣の徹底を!!

「新しい生活様式」という言葉を耳にするようになってしばらく経ちました。学校でもマスクの着用や手指消毒の徹底、給食の配膳の工夫等に加え、放課後毎日校舎内の消毒作業等を行っています。一方で、気温の上昇に伴い、熱中症対策とマスクの着用の兼ね合いも難しくなり始めています。学校では基本的にこれまで同様の着用を推奨していますが、登下校などで3密（1m以上間隔を開ける、話をしない、大声を出さない）が回避できる場面ではマスクを外す判断や、授業内容によってはフェイスシールドを利用しています。一方で、場面場面に応じてマスクの着脱を繰り返す内に、マスクを破損してしまったり、紛失してしまったりする者も増えてきました。予備のマスクや、外したマスクを入れておく袋などを用意して下さい。

